Science News

Ｖｏｌ．１　２０２２年　２月

水質汚濁に係る水質環境基準が見直されます！

今年4月より下記の様に「環境基準」が見直されます。弊社では4月から対応できるよう準備を進めております。また、今後も情報収集を継続してまいりますので、新しい情報が入りましたらお知らせいたします。お困りごとがありましたら、ご相談ください。個別に対応させていただきます。

「環境基準」とは・・・大気の汚染、水質の汚濁等、人の健康の保護及び生活環境の保全の上で維持されることが望ましい基準であり、行政上の政策目標となります。常に適切な科学的判断が加えられ、必要な時は改定がなされます。

1.六価クロムに係る基準値の見直しについて

（1）経緯　平成30年9月に一日耐容摂取量が設定され、令和2年4月に水道水質基準が0.05mg/Lから0.02mg/Lに改正されました。これを受け、告示改正を行うこととなりました。

（2）概要　公共用水域の水質汚濁に係る環境基準（昭和46年12月環境庁告示第59号）及び地下水の水質汚濁に係る環境基準（平成9年3月環境庁告示第10号）の別表1中、六価クロムの基準値について改正されます。

表1　基準値を見直す項目

項目名	改正後	現行
六価クロム	0.02mg/L以下	0.05mg/L以下

備考　基準値は年間平均値とする。

2. 大腸菌群数に係る環境基準の見直しについて

（1）経緯　大腸菌群数はふん便汚染の指標となる大腸菌を検出するために測定されてきましたが、大腸菌群数が多く検出されても、大腸菌が検出されない場合がありました。また、大腸菌群に係る環境基準が制定された当時の培養技術では大腸菌のみを簡便に検出する技術はありませんでしたが、今日では、簡便な大腸菌の培養技術が確立されていることから、「大腸菌群数」については「大腸菌数」へ見直すことが適当であると考えられました。

（2）概要　公共用水域の水質汚濁に係る環境基準（昭和46年12月環境庁告示第59号）の別表2中、大腸菌群数に係る部分について改正されます。

表2　環境基準値【河川】

	改正後	現行
類型	大腸菌数環境基準値 [90%水質値]	基準値
AA	20 CFU/100mL以下	50 MPN/100mL以下
A	300 CFU/100mL以下	1,000 MPN/100mL以下
B	1,000 CFU/100mL以下	5,000 MPN/100mL以下
備考	大腸菌数試験用の 特定酵素基質寒天培地	最確数による定量法

六価クロム及び、大腸菌数の測定方法については下記をご覧ください。

水質汚濁に係る水質環境基準の見直しについて（概要）（環境省水・大気環境局水環境課HP）

https://www.env.go.jp/press/files/jp/116882.pdf

施行期日：2022年4月1日

金属アーク溶接等作業について健康障害防止措置が義務付けられます

改正政省令・告示は令和3年4月1日より施行・適用されています。
継続して金属アーク溶接等作業を行っている屋内作業場は、令和4年3月31日までに溶接ヒュームの濃度の測定を行う必要があります。

詳細は、厚生労働省のHPに記載されています、また株式会社サイエンスのHPにも案内を載せています。詳しくはそちらをご覧ください。

厚生労働省ホームページ
（https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_12725.html）

①溶接ヒューム濃度の測定
測定結果がマンガンとして
（※立方メートル当り）

0.05mg/㎥未満※ → ④

0.05mg/㎥以上※ → ②

②換気装置の風量の増加　その他必要な措置

↓

③再度、溶接ヒューム濃度の測定

↓

④測定結果に応じ、有効な呼吸保護具を選択し、労働者に使用させる

↓

⑤面体を有する呼吸用保護具を使用させる場合
１年以内ごとに１回、フィットテストの実施

富士市内にて交通量調査を行いました

2021年11月、富士市内46箇所にて、総勢272名による交通量調査を実施しました。現地での測定は数名が１班となり交代制で行いました。当日は快晴、風も穏やかな測定日和。日没後は急速に冷え込みましたので、上着や懐炉などで防寒をしながらの測定となりました。
地域の皆様、測定員の皆様、機材を貸してくださいました業者様、数多くの方々のご協力のもと、無事測定を終えることができましたので、ここに感謝申しあげます。

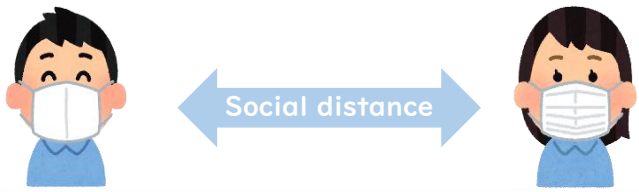
わが社のコロナウィルス対策

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたと思われましたが、感染力が強いオミクロン株の発現で感染者数が急増しております。重症化率は低いようですがまだまだ不安な日々が続きそうです。弊社では感染防止の為に日頃から以下のような対策に取り組んでおります。

- 従業員の出勤時の検温
- マスクの着用
- こまめな手洗い
- 手指消毒
- ドアノブ、手すりなど共有部の消毒の徹底
- こまめな換気
- 従業員の定期的なPCR検査

▲サーモグラフィーカメラ

みなさまはどのような対策をされていますか？



株式会社 サイエンス

HPも見てね！
http://www.science-c.co.jp/